

令和2年度 社会福祉法人咲福社会 事業計画

【基本理念】

障害者の社会参加を支援する
～必ずある自分の役割を見つけよう～

一人ひとりに向き合い楽しさと笑顔を大切に地域で安心して暮らせる
社会の実現を目指します

【事業方針】

近年の障害福祉制度をとりまく現状として、障害者の総数は約 970 万人、これは人口の約 7.6%に相当し障害者数は年々増加傾向にある。そして、障害福祉サービスの利用者・利用額も増加しており、今後ますます福祉ニーズは高まり福祉環境も厳しさを増すものと思われる。

社会福祉法人として1年が経過しており、中期計画の基本方針である「安定経営の確立」、と「地域と共に生きる」を基軸として、更なる既存事業体の存続意義を明確にしながら多様化する利用者ニーズに応えるべく新規事業の追究等も行ない、効率的で安定した経営及び人材の育成・定着・確保に努める。

また、地域福祉には課題が山積しており、行政、地域の人々、福祉施設などとの連携を図りながら利用者支援、工賃向上、施設整備、組織の強化、地域の活性化等様々な課題に継続して取り組んでいく。

【事業目標】

総合福祉を目指す社会福祉法人として、支援を必要としている人の地域生活を支えるために、熱く誠実に向き合い、専門性を高めながら分野横断のサービスの連携を図り地域共生社会の実現を目指す。

【行動方針】

- (1) 利用者のために何ができるかを考える
- (2) “安心笑顔”の実践

【重点目標】

- (1) 提供する福祉サービスの向上と経営基盤の強化
- (2) 職員の能力や個性を生かす組織開発
- (3) 新たな事業の推進と事業領域の調査研究・開拓

【具体的目標】

(1) 組織の強化と環境整備

- ① 法人本部と階層別人事の確立及び将来を見据えた人員確保に努め、持続継続した良質なサービス体制を作るため余裕を持った人員配置を目指す。
- ② 作業場、加工場、研修指導室等既存施設の見直しを行ない、生産活動や教育環境の向上を図るための実態把握と実現可能な計画策定の実施。
- ③ 職員の教育機会を充実するため職場内研修、外部研修、外部団体交流等の学べる機会の積極的拡充と推進を図る。
- ④ 時代の流れに柔軟に対応するため就業規則、人事制度等の随時改善を図る。
- ⑤ 健全な法人経営と積極的な情報公開を行なうため第三者機関や理事会などからの助言や協力の強化を図る。

(2) 福祉サービスの向上と新たな事業の推進と開拓

- ① 利用希望者の要望に応えるため定員増の実施。
- ② 利用者や家族のニーズ実現と地域生活支援拠点等整備の一環として共同生活援助（グループホーム）の開設。
- ③ 誰もが安心できる幅広い地域生活支援を実施するため、自立訓練（生活訓練）事業の調査・研究等、実現に向けた準備を行なう。
- ④ 日常生活自立支援事業や法人成年後見人制度の調査・研究等を行ない今後に向けた準備の実施と受託。